

産業能率大学 情報マネジメント学部

インダストリアル・エンジニアリング	履修年次	2	
	単位	2	
斎藤 文	配当期	後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業では事前に配布した資料の解説を行った後、身近な事例を用いた演習を行うので、授業前には資料の該当部分を予習しておくこと。分析手法は数量的な取り扱いが中心で、現象を定量的に把握する方法を学ぶので、必ずルートつきの電卓を持参すること。毎回授業冒頭ではmanabaの小テストを使った授業外学習確認テストを実施し、前回の授業内容の理解度を確認する。各テーマに応じた分析手法について、具体的な事例に適用した4つの課題が課せられる。最後に定期試験を実施し、IEに関するテクニカルタームの理解と分析手順の理解度を確認する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・経営システムにおけるインダストリアル・エンジニアリングの重要性について理解できる。 ・各技法を駆使して、作業プロセスの設計方法と評価方法を習得し、活用できる。 ・「改善」についての基礎手順を習得し、活用できる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、提出課題、定期試験により総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	イントロダクション国内企業の現状と課題 IE の基本的な考え方	8	工程分析(2)製品工程分析
2	動作研究(1)サーブリック動作経済の原則	9	稼働分析(2)連合作業分析
3	動作研究(2)ボールペンの組立演習	10	ラインバランシング
4	時間研究(1)時間研究の手順	11	運搬分析(1)DI分析
5	時間研究(2)標準時間とレイティング	12	運搬分析(2)運搬活性分析
6	稼働分析(1)ワークサンプリング	13	経営とIE
7	工程分析(1)作業者工程分析	14	IEの活用事例今後の課題